

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。	
		※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)	
留学先大学名	ウプサラ大学 (国名:スウェーデン)		
留学先学部名(またはプログラム名)	交換留学		
留学期間	2013 年 9 月 ~ 2014 年 6 月		
学部/学府・年次	経済学部/学府	4 年次~	4 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	①・無 (期間: 1 年)		
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	①. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため		
	4. その他(具体的に記入)		
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?			
進路の予定	①. 就職 (時期: 4月から / ()年 ()月から) 2. 大学院進学(大学 学府/研究科) 3. その他(具体的に:)		
前項で1と答えの方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)	6月:ロンドンキャリアフォーラム 帰国後~10月 国内での就職活動		
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	ある程度影響したと思う。		
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?	就職活動に直結して役に立ったとは思わない。		
1. 留学先大学について			

<p>授業(カリキュラム等)の概要について</p>	<p>取りたい授業を選択。留学生向けの授業は英語で行われる。九州大学のように曜日固定の時間割ではないので、自分でスケジュールを調整する必要がある。授業の一環としてのグループワークは比較的に多く、チームとして働く能力も養われる。</p>
<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>コーディネーターが親身にサポートしてくれる。ただ、彼らは非常に忙しそうなので、事前のアポイントをしっかりとっておくことは重要である。到着後の空港での出迎えであったり、オリエンテーションも充実していたりと、十分なサポートをしてもらえる。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>世界中から学生が集まっており、学校の施設も休日も遅くまで利用可能であるため、勉強する環境は整っている。キャンパスは学習分野ごとに異なる場所に位置しており、自分の場合はキャンパス間の移動を苦に感じることもあった。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人たちへのアドバイス</p>	<p>学部四年時に行く人は、自分の専門分野であれば授業は学部生向けのものより修士向けのものを受講したほうが良いと思う。</p>
--------------------------------	---

2. 事前手続き(ビザ申請など)

<p>ビザの種類</p>	<p>居住許可証</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>スウェーデン大使館</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>インターネット上で行う。(Swedish migration board) 現地で生活出来るだけのお金があることを証明する預金残高証明書は必要だった。</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>1ヶ月ほど。</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	街自体はさほど大きくなく、大体街の中心に行けばなんでも揃う。自分の場合は到着後すぐに自転車を中古で買い、どこでも移動できるようにしていた。バスに関しての割高感是否めない。物の値段は非常に高く感じた。他の日本人学生も予想よりも高い物価に苦労していたと思う。ただ、スーパーで食材を買って自炊するとかなり出費を抑えられるため、自炊することは必須であると感じる。週末にストックホルムに電車で容易に行くことも出来る。
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	<p>生活費計 10万円/月</p> <p>(生活費内訳) 住居費: 6万円、 光熱水料: 0円、 通学費: 0円、 食費: 3万円、 電話代: 1500円、 インターネット代: 0円、 書籍代: 1万円 その他:(具体的に)</p> <p>学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 円 (徴収された費用の名目を具体的に:)</p>
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	日本食、薬、ヒートテック、日本的な土産。
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	福岡銀行のあれこれカードが便利だった。手数料も一回の引き出しで100円位と、他と比べると格段に安いと思う。ちなみにスウェーデン以外でもフランスのATMで利用することもできた。クレジットカードはVISA、MASTER、(JCB)があれば問題無いと思う。自分はほとんどすべての支払をカードで済ませ、家賃のみを現金で銀行に支払っていた。現地の銀行開設は行わなかった。カード社会なので大体どこでもカードで支払える。ちなみにバスにのるときも現金は受け付けておらず、カードでしか支払えない。

4. 住居、生活環境		
住居の種類(○印をつける)	・ <input checked="" type="radio"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他()	
住所／電話番号	Kantorsgatan	
費用(月額)	6万円くらい	
どのようにして見つけたか	学校の案内	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	住みやすい寮だった。多くの学生がいるのは Flogsta だが、kantorsgatan はコリドー内に 5 人という人数と管理しやすい。周りに自転車で行ける範囲のスーパーが 4 つある。	
留学生を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報	近隣諸国に安く旅行できる。往復 4000～5000 円ほどでポーランドに行けたり、フランス・ドイツ等も片道一万円以下で行くことが出来る。また船でフィンランド等に旅行に行くこともおすすめ。	
5. 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト		
サイト名	URL	コメント

--	--	--

6. その他の特記事項

--